



2023年度年末手当 **NO.1**
2.65ヶ月 + 50,000円
こんなに低水準な金額になったのはなぜ??

その1 「モノへの投資」ばかりで「ヒトに投資」しない会社姿勢

JR東日本は「鉄道起点」から「ヒト起点」に切り替え「融合と連携」を深化させるため「モビリティ」と「生活ソリューション」の割合を従来の「7:3」から「5:5」を目指す目標を掲げています。

現在、あらゆる部門で投資が行われており、右の図のキャッシュフロー計算書の見極め方でもJR東日本は積極投資企業に該当します。

優良企業 営業CF (+) 投資CF (-) 財務CF (-)	積極投資企業 営業CF (+) 投資CF (-) 財務CF (+)	懸念企業 営業CF (-) 投資CF (+) 財務CF (+)	JR東日本 営業CF (+) 投資CF (-) 財務CF (+)
--	--	--	---

営業CFは本来業務の稼ぎ
 投資CFは投資状況（+だと投資が多い）
 財務CFは負債状況（+だと負債が増加）

過去の数字を比較しよう!

営業	営業	営業	営業	営業	営業
収益	費用	純利益	夏季手当	年末手当	
6294億	5492億	450億	23年	2.5ヶ月	
5576億	5173億	190億	22年	2.3ヶ月	2.9ヶ月
4333億	4886億	-769億	21年	2.0ヶ月	2.0ヶ月
3329億	5112億	-1565億	20年	2.4ヶ月	2.2ヶ月
7423億	5977億	918億	19年	2.9ヶ月	3.18ヶ月
7263億	5876億	787億	18年	2.9ヶ月	3.18ヶ月
7118億	5732億	867億	17年	2.9ヶ月	3.18ヶ月
6980億	5651億	802億	16年	2.85ヶ月	3.18ヶ月
6879億	5509億	775億	15年	2.87ヶ月	3.18ヶ月
6580億	5365億	664億	14年	2.8ヶ月	3.12ヶ月
6543億	5252億	736億	13年	2.85ヶ月	3.11ヶ月
6453億	5193億	590億	12年	2.55ヶ月	2.96ヶ月
5689億	4907億	223億	11年	2.6ヶ月	2.78ヶ月
6310億	5153億	451億	10年	2.7ヶ月	3.02ヶ月
6280億	5299億	377億	09年	2.85ヶ月	3.06ヶ月
6601億	5401億	637億	08年	2.9ヶ月	3.22ヶ月
6528億	5296億	549億	07年	2.95ヶ月	3.25ヶ月
6404億	5304億	548億	06年	2.85ヶ月	3.2ヶ月
6273億	5058億	560億	05年	2.93ヶ月	3.2ヶ月
6154億	5147億	398億	04年	2.93ヶ月	3.0ヶ月

商品物価は上昇していますが
 私たちへの労働価値（賃金）は
 こんなにも下げられています！

しかし、「融合と連携」という合言葉にジョブローテーション、業務の兼務、構造改革の取り組み等によって仕事の負担は大幅に上がっています。左図は我孫子運輸区分会の掲示板に貼られていたものになります。2004年～2010年頃の決算状況が2023年度と同等の数値にですが、当時と比べて今のJR東日本がいかに「ヒトへの投資」を行っていないことがよくわかります。

我孫子運輸区分会の掲示板

世間の常識はJRでは非常識！

「心豊かな生活」と「仕事と家庭生活の調和がとれた働き方」
 輸送サービス労組と共に目指そう！